

2019年9月4日

狭額縁10V型フローティング大画面※1で業界最多※2400車種以上に装着可能

SDカーナビステーションStrada大画面モデル3機種を発売

ストラーダ史上、最上級の大画面・高画質。
ブルーレイや地デジを高精細なHD画質で楽しめる※1



CN-F1X10BD



CN-F1X10D



CN-F1D9D

品名	SDカーナビステーション		
品番	CN-F1X10BD	CN-F1X10D	CN-F1D9D
愛称	F1X PREMIUM10		—
搭載ディスプレイ	DYNABIG(ダイナビッグ)スイングディスプレイ		
	10V型HD		9V型WVGA
動画再生メディア	BD/DVD	DVD	
希望小売価格	オープン価格		
発売日	2019年11月中旬		2019年11月上旬
月産台数	1,000台	2,000台	2,500台

パナソニック株式会社 オートモーティブ社は、「DYNABIGスイングディスプレイ」を搭載したSDカーナビステーション「ストラーダ」のラインアップを3機種に拡充し、2019年11月上旬より発売します。

本シリーズは、当社従来品(9V型)と同等のディスプレイユニットサイズに収まる狭額縁の10V型※1フローティング大画面を新たに開発。10V型でありながら業界最多※2の400車種以上に装着を可能とし、高まる大画面ニーズに対応することで、ユーザーの選択肢を広げます。好評の左右スイング機能を全モデルに搭載し、「見やすくキレイな大画面」が進化。高精細な「HDブリリアントブラックビジョン」を搭載し、表示解像度を従来比※32.4倍に向上。ストラーダ史上最上級の高画質を実現しました。さらに新設計の専用パワーアンプ搭載※1で音質面も強化。

ブルーレイ※1や地デジを高精細なHD画質、高音質で楽しめます。

また、前後2カメラドライブレコーダー(CA-DR03TD／別売)と連携し、安全・安心ドライブを支援。カーナビ画面で後方の映像を確認できるなど、あおり運転の不安にも対応しました。

当社は、「F1X PREMIUM10」のラインアップで大画面カーナビの選択肢を広げ、安全・安心で快適なドライブをサポートします。

特長

1. 狹額縁10V型フローティング大画面※1で業界最多※2400車種以上に装着可能
2. ブルーレイや地デジを10V型大画面の迫力と高精細HD画質・高音質で楽しめる※1
・HDプリリアントブラックビジョン※1を搭載し、表示解像度を従来比※32.4倍に向上
3. 前後2カメラドライブレコーダーと連携し、安全・安心ドライブを支援

※1 10V型HD、新パワーアンプはCN-F1X10BDとCN-F1X10Dのみ搭載。ブルーレイはCN-F1X10BDのみ搭載。

※2 国内市販ルート向け10V型カーナビとして、2019年8月30日現在、当社調べ。

※3 当社従来品2018年モデルCN-F1XVDと比較して。

【お問い合わせ先】

オートモーティブ社 お客様ご相談センター

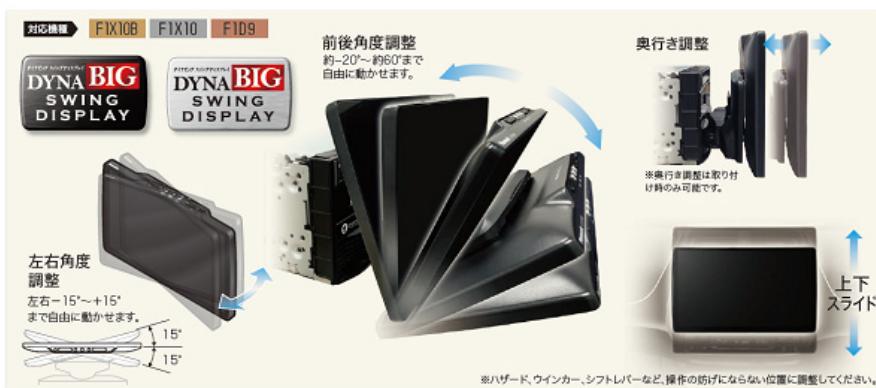
フリーダイヤル 0120-50-8729（受付時間 9:00～18:00 365日）

【特長】

1. 狹額縁10V型フローティング大画面※1で業界最多※2400車種以上に装着可能

●フローティング構造の「DYNABIGスイングディスプレイ」

ディスプレイの上下スライド、前後チルト、奥行調整（取付時のみ）に加え、左右各々15度のスイング機能を搭載し、ハザードやシフトレバーを避けて装着可能。車種専用パネルが不要なため、10V型大画面を業界最多※2の400車種以上に取り付けできます。またドライバー好みに角度を調整でき、良好な視認性と操作性を実現しています。



●狭額縁の車載専用液晶ディスプレイ

液晶パネルを囲む枠の幅を極限まで狭くした狭額縁構造を新たに開発。当社従来品（9V型）からディスプレイユニットサイズを変えずに10V型※1を実現することで、400車種以上に装着可能としました。外装フレームには、軽量で凹みや変形に強いマグネシウム合金※4を採用し、狭額縁を引き立たせるデザインに仕上げました。電着塗装およびヘアライン処理により、金属の質感を最大限に引き出し、高級感のある車室内を演出します。

※4 CN-F1X10BDとCN-F1X10Dのみ。



F1XV
(18年モデル)



狭額縁 10V型ディスプレイ

2. ブルーレイや地デジを10V型大画面の迫力と高精細HD画質・高音質で楽しめる※1

● HDブリリアントブラックビジョン※1を採用し、表示解像度を従来比※32.4倍に向上

明るく色鮮やかで、斜めからでも見やすい「HDブリリアントブラックビジョン」※1を搭載。高解像度のHDパネルと広視野角、高輝度のIPS液晶の採用に加え、ディスプレイ表面の低反射(AGAR)フィルムや空気層をなくしたエアレス構造により、外光の反射、液晶光の内部反射等による映り込みを抑制。表示解像度を従来比※32.4倍に向上し、ストラーダ史上、最上級の高画質を実現。ブルーレイや地デジを10V型大画面の迫力と高精細なHD画質で楽しめます※1。



● 当社独自※5のブルーレイプレーヤー※6搭載モデル

耐振・耐熱性に優れた車載専用光ピックアップを採用した自社開発の薄型ブルーレイプレーヤー※6を搭載し、過酷な車内環境でも安定したディスク再生が可能です。ブルーレイソフトやレコーダーで録りためた高画質映像を気軽にクルマに持ち込んで楽しめます。

※5 国内市販ルート向けカーナビとして。2019年8月30日現在、当社調べ。

※6 CN-F1X10BDのみ対応。

● 新設計の専用パワーアンプ搭載※4で音質面を強化

専用設計したパワーアンプ※4を新たに搭載し歪率を従来比※3約2.5倍、チャンネルセパレーションを約2.0倍改善。低音域に締まりが出てクリアな音質に、音の広がりや音像定位が向上しました。臨場感溢れる音声でブルーレイ※6の映像を楽しめます。

3. 前後2カメラドライブレコーダーと連携し、安全・安心ドライブを支援

前後2カメラタイプのドライブレコーダー(CA-DR03TD／別売)と連携し、カーナビ画面で簡単に操作や映像再生ができます。車体の前後を同時に録画するほか、走行中にカーナビ画面で後方の映像を確認できる機能※7や、バック時にリバース運動で後方の目視補助を行う機能※7を搭載。付属のオリジナルステッカーを車両に貼り、ドライブレコーダー搭載を車外に認知させることで、危険運転の抑止が期待できます。

※7 CN-F1D9Dはオプションケーブル(CA-LAV200D)が必要です。



カーナビで録画映像を確認



CA-DR03TD

【その他の主な特長】

●一時停止や制限速度を知らせる「安全・安心運転サポート」機能

見落としがちな道路標識情報などを事前に音声と画面表示で知らせ、旅先など不慣れな道での走行をサポートします。生活道路区域である「ゾーン30」は色分け表示し、エリア内で速度を超過すると警告します。

●高速道路／有料道路の逆走検知・警告を強化

サービスエリア／パーキングエリアから出発する際に音声と画面表示で注意喚起し※8、逆走すると検知して※9直ちに音声と画面表示で警告します。新たに都市高速に対応するとともに、サービスエリア／パーキングエリア入口部など、逆走の起こりやすい箇所に対応し、逆走検知箇所を増加させました。

※8 サービスエリア／パーキングエリアによっては案内されない場合があります。

※9 逆走を検知できる道路・状況は限られます。

●信号情報活用運転システムでスムーズな走行をサポート

高度化光ビーコンの情報を活用した「信号情報活用運転支援システム」※10に対応。青信号通過を知らせる「信号通過支援」、早めの減速を促す「赤信号減速支援」、赤信号から青信号への残り時間を知らせる「発進遅れ防止支援」で、スムーズな走行をサポートします。

※10 オプションの高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器「CY-ET2500VD」が必要です。システムの対象路線情報については、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページをご参照ください。

URL: http://www.vics.or.jp/know/structure/beacon_map.html#tsp

●交通情報システム「VICS WIDE」を活用し渋滞を回避

「VICS WIDE」の情報を基に渋滞を避ける「スイテルート案内」機能を搭載。刻々と変わる道路状況に合わせて自動で最適なルートを再探索して案内します。

●一目でわかる新地図と分かりやすいルート案内

実際の案内標識と同じデザインの案内表示や、ルート案内で重要な分岐点をアイコンで強調して分かりやすくルート案内します。準天頂衛星「みちびき」でGPSを補完し、道路の標高情報を活用したアルゴリズムで正確な案内を実現します。

●簡単に操作できるメニュー画面とスムーズな操作感を実現する「ダイレクトレスポンス」

右にナビ操作系、左にオーディオ操作系を配置したUIは直感的に操作ができます。指の動きに瞬時に反応し、スマートフォンの様なスムーズな操作性でストレスなくスクロールが可能です。

●ハイレゾ音源再生に対応し、高音質音楽再生が可能

FLAC／WAVフォーマットのハイレゾ音源※4やブルーレイオーディオ※6の再生に対応。最大192 kHz／24 bitのハイレゾ音源を圧縮することなく再生できます。また、CDなどその他の音源を高音質化して再生する機能や音のプロのチューニングを楽しめる「音の匠」機能を搭載。高級オーディオに採用されるBBブランド32bit D/Aコンバーター※4をはじめ多くの高音質パーツを搭載し、車内でスタジオマスターサウンドを再現します。

●HDMI入出力端子※11を装備しリピーター機能に対応

ブルーレイの映像をHD画質で後席モニターに出力することや、HDMI対応スマートフォンと接続してスマートフォンの画面表示をカーナビ画面や後席モニターに出力することができます。

※11 入力端子はCN-F1X10BD／F1X10Dのみ。出力端子はCN-F1X10BDのみ。接続に関する詳細はホームページをご参照ください。

URL: <https://panasonic.jp/car/navi/drivepass/com/index.html>

●目的地検索アプリや音声認識機能※4が利用できるスマートフォン連携

スマートフォンで探した目的地をカーナビに転送できるアプリ「NaviCon®」やAndroid Auto™※4、カーナビと対話しながら目的地設定できる音声認識機能※4に対応しています。

●WEBダウンロード地図更新最大3年分付き※12

全地図更新データ:3年間で1回提供(2022年12月10日(予定)まで)

部分更新地図データ:年6回×最大3年間配信(2022年12月10日(予定)まで)

※12 部分更新はCN-F1X10BD／F1X10Dのみ対応。道路データは2ヶ月毎、索引データは4ヶ月毎に更新。

詳細はホームページをご参照ください。

URL:<https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>

【仕様一覧】

		CN-F1X10BD	CN-F1X10D	CN-F1D9D		
電源	電源電圧	DC12 V(試験電圧 13.2 V)マイナスアース				
	消費電流	3.0 A以下 (AUDIO OFF時)		2.5 A以下 (AUDIO OFF時)		
液晶ディスプレイ	画面寸法 (幅×高さ×対角)	10 V型ワイド 221 mm×125 mm×254 mm		9 V型ワイド 198 mm×112 mm ×228 mm		
	映像入力	RGB(ナビゲーション画面)				
	画素数	2 764 800画素 (縦720×横1 280×3)		1 152 000画素 (縦480×横800×3)		
	有効画素数	99.99%				
	表示方式	透過型カラーフィルター方式				
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式				
	使用光源	内部光(LED)				
アンプ	タッチパネル	静電容量方式				
	定格出力	18 W×4				
	最大出力	50 W×4				
ナビゲーションユニット	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω(4~8 Ω使用可能)				
	外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×170 mm ※突起部を除く (取付奥行き寸法 168 mm)				
	質量	約2.6 kg	約2.3 kg			
ディスプレイユニット	動作温度	-10°C~+60°C				
	外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	240 mm×141 mm×19 mm ※突起部を除く				
	質量	約1.0 kg	約0.9 kg			

ブルーレイ ディスク・ DVD プレーヤー※13	信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p(内部) NTSC方式 1.0 Vp-p(出力)
	周波数特性	5 Hz～22 kHz(サンプリング周波数48 kHz)
	信号対雑音比(S/N比)	90 dB(IHF、A)
	ハウ・フラッター	測定限界以下

※13 ブルーレイプレーヤーはCN-F1X10BDのみ

【主なオプション製品】

品名	品番	発売日	希望小売価格 <税抜・取付費別>	対応機種
ドライブレコーダー	CA-DR03TD	11月上旬	オープン価格	全機種
ドライブレコーダー	CA-DR03D	11月上旬	オープン価格	全機種
リヤビューカメラ	CY-RC100KD	発売中	オープン価格	全機種
ETC2.0車載器	CY-ET2500VD	発売中	オープン価格	全機種

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。